

図面の浄書(内容に変更なし)

特開昭57-73328(2)

手続補正書(方式)

昭和56年3月1日

昭和56年5月29日 発出

特許庁長官

特許庁長官 殿

1. 事件の表示 昭和55年特許願第55-148830号
フリガナ ウズマキジョウ ナベウケダイ
2. 発明の名称 過巻状にしたガスコンロ鍋受台
3. 補正をする者

事件との関係

特許出願人

フリガナ

ニシイウイグンサイズミ オイマフ ミズサマシナ

住所(居所)

岩手県西磐井郡花泉町老松字水沢屋敷130番地

フリガナ

氏名(名称)

クマ ガイ ケン イチ
熊 谷 憲 一

4. 代理人

フリガナ

住所(居所)

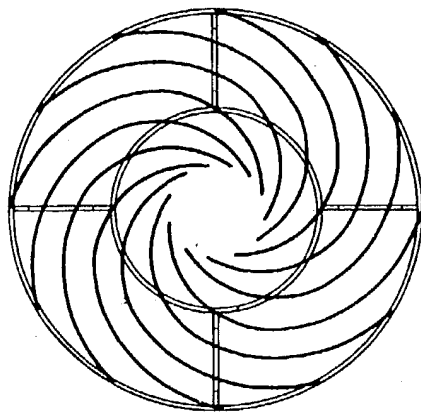
フリガナ

氏名(名称)

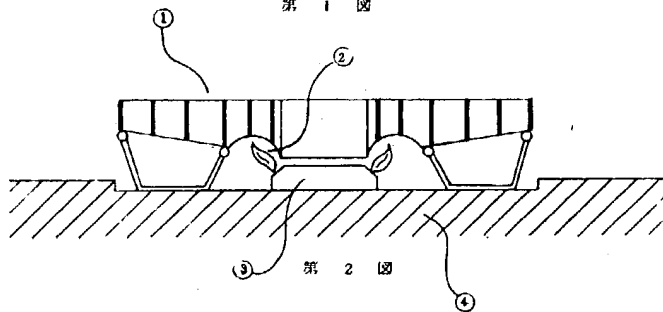
5. 補正命令の日付 昭和56年2月24日

6. 補正の対象 図面(第1図 第2図)

7. 補正の内容 別紙のとおり (内容に変更なし)



第1図



第2図

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57-73328

⑬ Int. Cl.³
F 24 C 15/10

識別記号

庁内整理番号
7116-3L

⑭ 公開 昭和57年(1982)5月8日

発明の数 1
審査請求 有

(全 2 頁)

⑮ 過巻状にしたガスコンロ鍋受台

岩手県西磐井郡花泉町老松字水
沢屋敷130番地

⑯ 特 願 昭55-148830

⑰ 出 願 人 熊谷憲一

⑱ 出 願 昭55(1980)10月23日

岩手県西磐井郡花泉町老松字水
沢屋敷130番地

⑲ 発 明 者 熊谷憲一

明 細 書

1. 発明の名称

過巻状にしたガスコンロ鍋受台

2. 特許請求の範囲

過巻状に鉄板により仕切りを付け、熱効率
を高めたガスコンロ鍋受台

3. 発明の詳細な説明

このガスコンロ鍋受台は、鉄板にて過巻状
に仕切りを付け、炎と熱を誘導し熱効率を
高めたことに関する

従来、ガスコンロ鍋受台は、鍋またはその
他の類する物をガスコンロのノズルとの間
に一定の間隔を置いて物を乗せるだけのもの
であり、コンロに火を点火すると炎と熱
は放射線状に飛散し、熱効率が悪かった。
この発明は、鍋受台を過巻状に鉄板により
仕切ることにより、炎と熱をその仕切り通
りに誘導し、鍋底の炎と熱の通過距離を従
来よりも約2倍長くした またそのことに

より炎と熱の通過時間も長くなり、熱効
率が高くなる効果がある

4. 図面の簡単な説明

第1図 平面図

第2図 ガスコンロと鍋受台の断面図

① 鍋受台

② 炎

③ ノズル

④ ガスコンロ

特許出願人 熊谷 憲 一